

Electric field therapy apparatus

Publication number: JP6061253U

Publication date: 1994-08-30

Inventor:

Applicant:

Classification:






- international: *A61N1/00; A61N1/10; A61N1/18; A61N1/40; A61N1/00; A61N1/10; A61N1/18; A61N1/40; (IPC1-7): A61N1/00; A61N1/18*

- European: A61N1/40

Application number: JP19930006129U 19930128

Priority number(s): JP19930006129U 19930128

Also published as:

 ITTO940037 (A)
 GB2274593 (A)
 DE4402264 (A1)
 SE9400195L (L)
 SE9400195 (L)

more >>

Report a data error here

Abstract not available for JP6061253U

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-61253

(43)公開日 平成6年(1994)8月30日

(51)Int.Cl.⁵

A 6 1 N 1/00

1/18

識別記号

庁内整理番号

7638-4C

7638-4C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 実願平5-6129

(22)出願日 平成5年(1993)1月28日

(71)出願人 391001697

株式会社白寿生科学研究所

東京都港区虎ノ門1丁目11番2号

(72)考案者 原 昭邦

東京都渋谷区元代々木町50番17号

(72)考案者 小川 幸雄

東京都江戸川区船堀1丁目1番26-505号

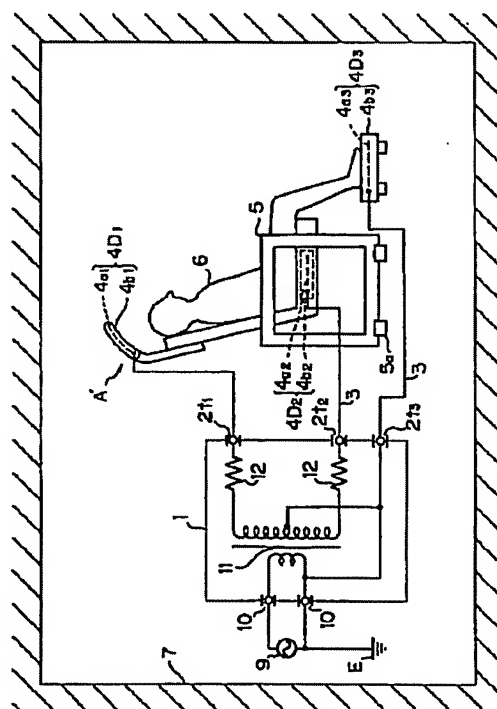
(74)代理人 弁理士 松永 善蔵

(54)【考案の名称】 電位治療器

(57)【要約】

【目的】 電位治療器に関するものである。

【構成】 少なくとも三ヶの出力端子を設け、それらの出力端子に接続された通電導子の一ヶを人体の頭部近傍、一ヶを足部、残りをそれら頭部近傍および足部の通電導子の中間に配置し、それぞれの通電導子間に電位差をもたせる電位が供給されるようにしたことを特徴とする電位治療器。



(2)

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも三ヶの出力端子を設け、それらの出力端子に接続された通電導子の一ヶを人体の頭部近傍、一ヶを足部、残りをそれら頭部近傍および足部の通電導子の中間に配置し、それぞれの通電導子間に電位差をもたせる電位が供給されるようにしたことを特徴とする電位治療器。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 従来の電位治療器の使用状態を示す斜視図。

【図 2】 従来の電位治療器の他の例の使用状態を示す斜視図。

【図 3】 この考案の電位治療器の実施例の使用状態と回路を示す図。

【符号の説明】

(A) 電位治療器

(A') 電位治療器

(1) 電位治療器本体

(2) 高電圧出力端子

(2t₁) 高電圧出力端子

(2t₂) 高電圧出力端子

(2t₃) 高電圧出力端子

(3) 高耐電圧コード

(4) 通電導子

(4') 通電導子

(4D₁) 通電導子

(4D₂) 通電導子

(4D₃) 通電導子

(4a) 電極

(4a₁) 電極

(4a₂) 電極

(4a₃) 電極

(4b) 絶縁物

(4b₁) 絶縁物

(4b₂) 絶縁物

(4b₃) 絶縁物

(5) 椅子

(5a) 絶縁子

(6) 人体

(7) 周囲構造物

(8) 大地電極

(9) 商用電源

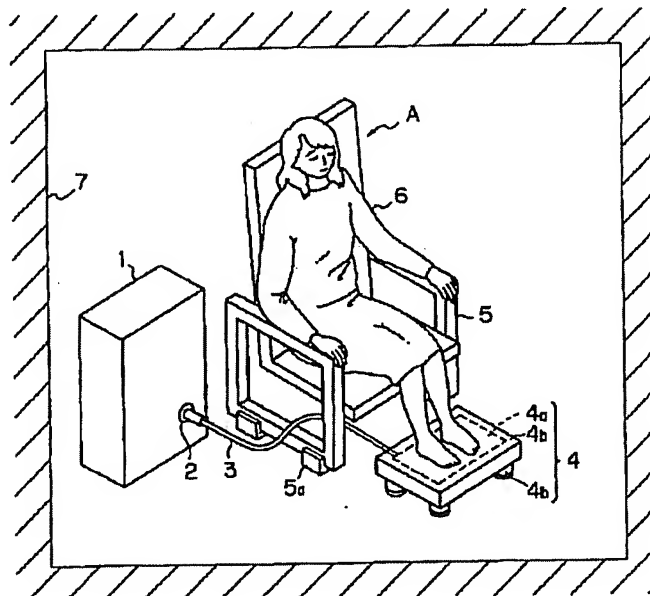
(10) 入力端子

(11) 昇圧トランス

(12) 電流制限抵抗器

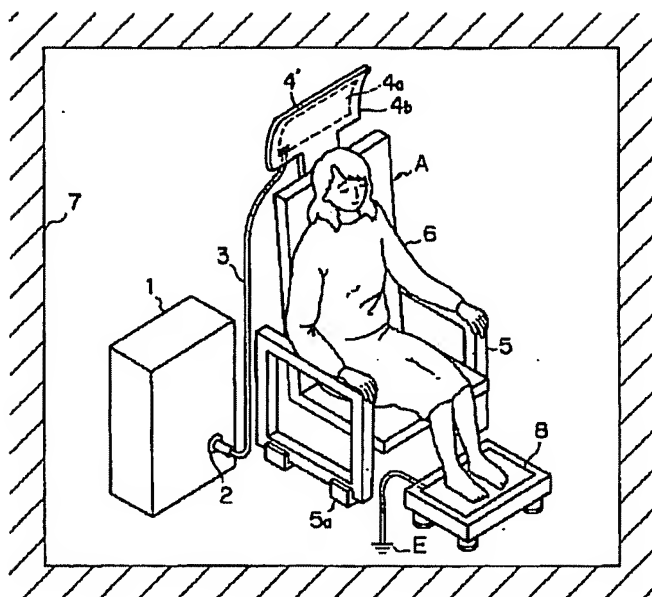
(E) アース

【図 1】

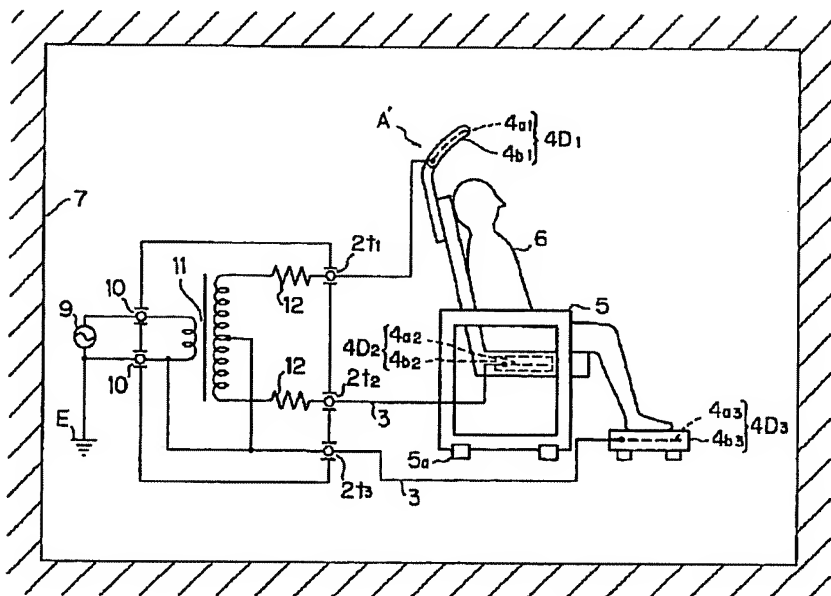


(3)

【図2】



【図3】



【手続補正書】

【提出日】平成6年4月21日

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

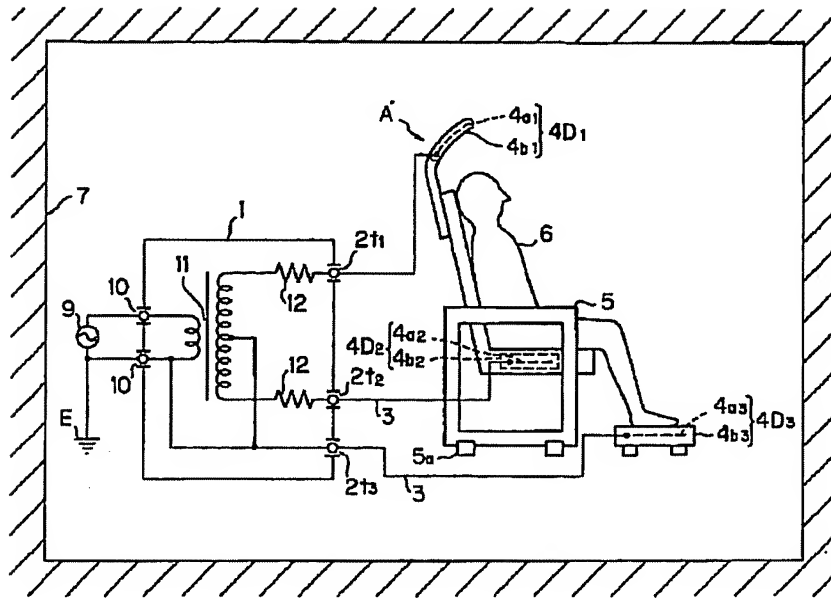
【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正内容】

【図3】

(4)



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

この考案は、高電圧を利用して治療を行う電位治療器に関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

図1は従来から使用されている電位治療器(A)の通常の使用態様を示した図で、(1)は電位治療器本体、(2)は前記電位治療器本体(1)の高電圧出力端子、(3)は高耐電圧コード、(4a)は前記電位治療器本体(1)からの高電圧が印加される電極、(4b)は電極(4a)の絶縁物であり、それらによって通電導子(4)が構成される。(5)は椅子、(5a)はその椅子(5)を床から絶縁するための絶縁子、(6)は人体、(7)は周囲構造物で大地と同電位の壁や床などである。このような従来の電位治療器(A)の使用方法は、図示のように表面周縁が絶縁物(4b)で覆われている通電導子(4)上に、床(大地)から絶縁子(5a)によって絶縁された椅子(5)に座っている人体(6)の一部、たとえば足を接触させ、通電導子(4)と周囲構造物(7)の間に高電界を発生させ、人体(6)をその高電界内に入れ治療するものであった。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

上記のような従来の電位治療器(A)では、高電位が印加される通電導子(4)と大地と同電位の周囲構造物(7)との距離関係により、人体(6)が影響を受ける電界強度が大きく変化するために、電位治療をする場所によってその治療効果に差があるとともに、大地と同電位にある外部の物体が人体(6)に触れたときには、人体(6)に大きな電撃を感じた。これを防ぐために図2のように頭部近傍に通電導子(4')を配置し、人体(6)を大地に繋がるアース(E)にアースされた大地電極(8)に接触させて治療する場合は、人体(6)が大地電圧となるので、大地と同電位にある外部の物体が人体(6)に触れたときの電撃は無くなるが、それと一緒に通常の電位治療時に感ずるところの、正常な通電感覚も無くなる。このような問題を解決するためにこの考案は案出されたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】

この考案の電位治療器はそれぞれ電位差のある出力端子を三ヶ具備し、それぞれの出力端子に絶縁物によって覆われた通電導子を接続し、第一の通電導子を頭部近傍に、第二の通電導子を人体の胴体の一部に、第三の通電導子を足裏に接触するように配置した構成である。なお、第二、第三の通電導子のどちらかは大地電位（ゼロ電位）か、それに近い電位とし、他の二つの通電導子に高電圧を印加する。

【0005】

【作用】

この考案の電位治療器は、各通電導子間の距離が短くなるので、比較的低い電位でも高電界を発生させることができ、また周囲構造物による治療作用への影響が少なくなる。また人体に大地電圧をもつ通電導子を接触させるので、人体の電位は第二と第三の通電導子に中間の電位になり、これによって高電位になることは無く、合わせて高電圧が印加された通電導子も人体に接触させるので通電感を損ねることがない。

【0006】

【実施例】

図3はこの考案の電位治療器(A')の一実施例を示す図で、図1と同一符号は同一部分を示している。ここで(2t₁)、(2t₂)、(2t₃)は電位治療器本体(1)の高電圧の出力端子で、それぞれ異なった電位が印加される。(4a₁)は電位治療器本体(1)からの高電位が印加される電極、(4b₁)はその絶縁物であり、これらの両者で第一の通電導子(4D₁)が構成される。(4a₂)は電位治療器本体(1)からの高電位が印加される電極、(4b₂)はその絶縁物であり、両者で第二の通電導子(4D₂)が構成される。そして(4a₃)は電位治療器本体(1)からの高電位が印加される電極、(4b₃)はその絶縁物であり、両者で第三の通電導子(4D₃)が構成される。(9)は商用電源、(10)は電位治療器本体(1)の入力端子、(11)は商用電源(9)の電圧を高電圧に変換するための昇圧トランス、(12)は電流制限用抵抗器である。いま、昇圧トランス(11)の二次側巻線に発生した高電圧の一端を、出力端子(2t₁)を

通して人体(6)の頭部近傍に配置された第一の通電導子(4D₁)に導き、他端、すなわち出力端子(2t₂)を、人体(6)の図示臀部に接触された第二の通電導子側(4D₂)に導くことによりそれらの両電極間に高電界を形成させ、この高電界により人体(6)の上半身を治療する。また出力端子(2t₃)を通して二次巻線の間接点に接続され、人体(6)の足裏に接触された第三の通電導子(4D₃)と、前記第二の通電導子(4D₂)との間に形成された高電界で人体(6)の下半身を治療する。

【0007】

【考案の効果】

この考案は各通電導子間の距離を、従来の装置よりも短くすることができるので、比較的低い電位でも高電界を発生させることができ、また周囲構造物に影響されることがなく効率的な治療が可能となる。加えて高電位をもつ通電導子と大地電位の通電導子を人体に接触させるので、通電感を損なうことなく、また人体の電位を下げることもなく、人体が外部構造物に触れた場合でも電撃は少なくなり、安全な治療器具と安全な治療環境を提供することができる。

【提出日】平成6年4月21日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正内容】

【0007】

【考案の効果】

この考案は各通電導子間の距離を、従来の装置よりも短くすることができるので、比較的低い電位でも高電界を発生させることができ、また周囲構造物に影響されることがなく効率的な治療が可能となる。加えて高電位をもつ通電導子と大地電位の通電導子を人体に接触させるので、通電感を損なうことなく、また人体の電位を上げることもなく、人体が外部構造物に触れた場合でも電撃は少なくなり、安全な治療器具と安全な治療環境を提供することができる。